

活動報告ニュース

ご意見・ご要望お待ちしております Mail:shigidan@jcp-fuchu.com
FAX:042-364-6590 http://jcp-fuchu.com/fuchushigidan



竹内 ゆう子 からさわ 地平
090-8519-7017 090-3834-7740



2025年度 府中市一般会計予算案 反対討論要旨

危機的な物価高！くらし応援の市政に転換を！！

お米や野菜をはじめ物価の高騰が家計を直撃しています。その中で府中市の財政状況は、見通しを大きく上回る税金になり、2025年度も市民税が約31億円増収の見込みです。

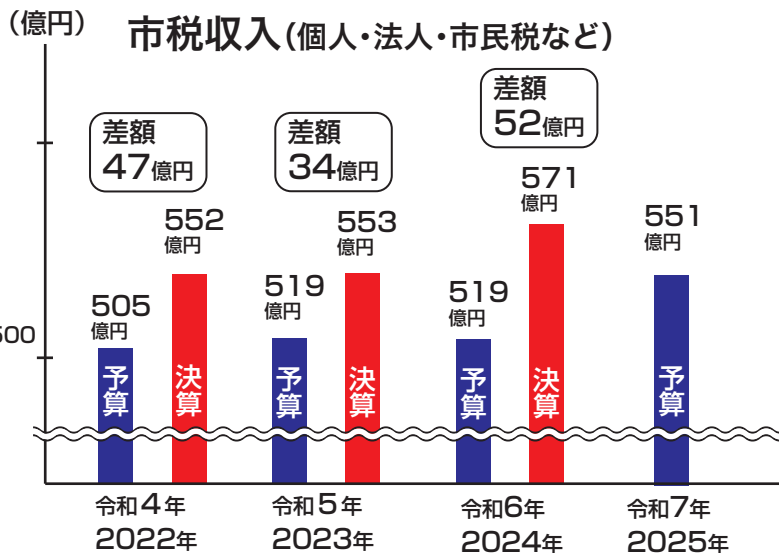
これまで府中市は、見通しを上回った税金を年度末の補正予算で基金に積み立ててきました。その一方、市独自に実施されてきたコロナ禍での市内経済支援や物価高騰対策は、低所得者層にとって恩恵の少ない「プレミアム付き商品券事業」が中心であり、2025年度も従来の施策に留まっています。

府中市の財政力を市民のくらし・市内中小事業者支援に積極的に活用するため、財政見直しや基金積み立ての転換が必要です。

給付型奨学金の廃止、ちゅうバス運賃値上げ 物価高での市民サービス減はゆるされない

市が実施する奨学金事業が見直しされ、高校生への給付型を含む奨学金事業が廃止になります。高校授業料無償化が実施されていても、制服代や納付金など保護者負担は残っており、利用者の経済状況を調査し継続することを求めました。

運転手不足により再編が進む「ちゅうバス」は、収益1.5倍を目途に値上げが検討されます。利便性向上を伴わない運賃引き上げは、市民の理解を得られないとしてやめるべきだと求めました。



差額の多くは「基金」に積み立て

令和6年積立額(見込み) 約62.3億円
基金総額(令和6年度末) 約790.9億円

公共施設整備基金
約301億円
リサイクルプラザ改修、
分倍河原整備事業など

PFAS・マイクロプラスチック発生源になる 市民球場の人工芝化事業に反対

施設利用率の向上を目的に、府中市民球場の人工芝化予算が計上されました。人工芝はPFASや、マイクロプラスチックの主要な発生源となっており、導入コストが8億4000万円と財政負担も大きいものです。既存施設のマイクロプラスチック対策も府中市ではおこなわれていません。市の環境政策にも逆行する整備事業の中止を求めました。



市のホームページより

都内自治体に学んだ施策 府中市でも実現もとめ提案

修学旅行をはじめ「移動教室学習」の保護者負担ゼロ

— 来年度より葛飾区、足立区などで実施

低所得者世帯へのエアコン購入助成

— 調布市で生活保護世帯を対象に実施

スポーツ施設の高齢者割引の導入

— 調布市、三鷹市、国分寺市、立川市などで実施 など

反対討論全文はホームページで
公開しています。



からさわ市議による反対討論
(1:20:00 から)



反対討論全文

竹内ゆう子 一般質問より(第4回定例会)



気候危機に逆行する樹木伐採 間引き伐採後の補植は10年以上も先に!?



市内全域での樹木の伐採に対して「地球温暖化の今、なぜ伐採するのか」といった疑問や、「環境対策として樹木を残して欲しい」と要望する声が数多くあがっています。今回「気候危機対策と樹木保全について」を取り上げ、市の姿勢を追及しました。

まず、気候危機における街路樹や公園樹の重要性について市の認識をたずねると「地球温暖化の抑制、ヒートアイランド現象の緩和、大気や水質の浄化に広く寄与している」と答弁しました。

その後、どのような場合に伐採をするのか、伐採の理由を聞くと、倒木や根上り等の危険があるものに加えて「健全な生育環境を確保するための間引伐採」などが理由としてあげられました。

間引伐採が行われた現場を調査すると、樹木の生育環境に影響があると言える根拠が示されていませんでした。健全かつCO2削減効果のある樹種(ユリノキ)が20本以上も伐採されており、市の対応は気候危機対策に逆行する深刻な問題です。

これまで「倒木の危険性や生育への影響について、専門家(樹木医)などが調査しているのか」と追

及すると「行っていない。今後は樹木医を活用したい」と答弁し、これまで科学的な根拠なしに伐採が行われていたことが明らかになりました。

世界的にも樹木を守り、新たに植える政策が進められています。市内での間引伐採は今後10年以上継続が予定されており、間引伐採が終了した後に補植するとの考えが示されましたが、それでは気候危機対策としては遅すぎます。府中市として環境対策と一体に緑を生かすまちづくりを進めることを強く求めました。



2024年度の伐採本数 (24年4月から25年2月まで)

道路 街路樹	120本	ハナミズキ、コブシ、 イチョウ、サクラなど
公園の 樹木	294本	サクラ、ネズモミチ、 サンゴジュなど



からさわ地平 一般質問より(第1回定例会)



給付型奨学金を継続する予算を

奨学金返済支援
制度がスタート

府中市は25年度より奨学金の在り方を見直し、若い世代の奨学金返済を支援する制度をあらたに実施します。党市議団もこれまで求めてきたものであり、新しい制度を歓迎します。その一方で、市がこれまで実施してきた奨学金を給付型を含めて廃止も提案されました。

なかでも一番の問題は、高校生を対象にした給付型奨学金です。市は廃止の理由として、国や都による支援が充実してきたことを挙げています。東京都による授業料無償化は実施されていますが、制服代や納付金、交通費など保護者負担が残されているのが現状です。利用している人たちの経済状況を踏まえた答弁はありませんでした。

新規事業の「奨学金返済サポート事業」は利用者が広く評価できるものです。一方、給付型奨学金の予算は年間約1800万円であり、継続するだけの財政を府中市は十分持っています。給付型奨学金の廃止撤回を求めました。

奨学金返済サポート制度

対象・・・前年度に奨学金を返済した
市内在住、20代課税所得者

支援・・・前年度の奨学金返済額から
最大10万円(3回まで利用可)

募集・・・前年度の課税額が確定する
夏以降を想定

人数・・・約300人(予算は3000万円)

25年度で募集を停止する奨学金

- ・奨学資金給付事業 (高校生)
- ・奨学資金貸付事業 (高校生・大学生)
- ・入学時初年度納付金貸付事業
(高校生・大学生)

有機フッ素化合物「PFAS」公共井戸調査で 高濃度の検出。継続した検査と安全対策を

市内公共井戸9ヶ所と2ヶ所の湧水で実施した水質調査結果が公表されました。いずれも飲用・農業での使用はありませんが、国の暫定目標値を上回るPFASが検出された井戸もあります。

あわせて、民間所有の防災井戸36ヶ所のうち26カ所の水質調査も実施されました。結果は井戸所有者に通知されますが、高い井戸では浄水器設置を支援するなど、市としての対策も必要です。

令和6年 公共井戸

水質調査結果より抜粋
(市のホームページから引用)

は暫定目標値を超えた井戸
(PFOS+PFOA合計50以下)

	PFOS	PFOA	(合計)	PFHxS
南白糸台小学校	17	16	34	19
府中公園	27	10	37	39
矢崎町防災公園	83	16	99	47
西府農業公園	140	23	163	110

公共駐車場でPFAS含む泡消火剤の交換 議会で要望し、次年度は1ヵ所で実施

PFASは消火剤として駐車場でも使用されてきました。党市議団は公共施設の駐車場について、PFASを含まないものに交換を求めてきましたが、来年度は府中市民聖苑で交換が進められます。

この他に4カ所の公共駐車場でPFASを含む消火剤が確認されています。一昨年には町田市で、駐車場からPFASを含む泡消火剤が河川に流出する事故が起きています。すみやかな交換を引き続き求めます。

PFASを含む消火剤が 設置されている駐車場

府中市民聖苑 ←交換予定
府中市美術館
ルミエール府中
府中の森芸術劇場
府中駅南口市営駐車場

教育センターの跡地利用で民間事業者による「学童クラブ」運営 公的サービスは市の責任で安心・安全な公的サービス提供を

教育センター跡地では、民間事業者による施設整備が予定されており、府中で初めて民間事業者による学童クラブ運営が想定されています。保護者がこれまで求めてきた、公設公営による学童保育の願いに背くものです。



今後の公共施設改修・整備では民間活力の導入が以前に増して強まっています。公的サービスは、市の責任により安心・安全な提供が原則です。市民の財産である公共施設跡地の利活用には、民間への利益の為の提供ではなく、市民の意見を反映した公的施設にすることが求められます。

教育センターの跡地活用

- ・民間収益事業
- ・学童クラブ等
- ・三本木保育所(移転)
- ・中・高生の居場所事業

・三本木保育所は市の運営、
他の事業は民間事業者が運営
・保育所以外の施設整備・管理
は民間事業者による整備・管理

核兵器禁止条約締約国会議のオブザーバー参加、 選択的夫婦別姓の法制化など市民の願い届ける意見書が可決

本定例会では、国会で争点になっている核廃絶、高額療養費、選択的夫婦別姓について、意見書の審議がおこなわれました。日本共産党は市民の願い実現の立場から意見書提出に賛成し、「選択的夫婦別姓制度」に関する意見書を市議会に提案しました。

この他にも中河原駅前交差点に横断歩道を設置を要望する陳情などが今定例会で可決されています。

選択的夫婦別姓
制度に関する
意見書提案説明
(24:30ころから)



3/17本会議 での賛否	市政会 (自民) 7名	公明府中 5名	市民 フォーラム 4名	自由 クラブ 4名	日本共産党 2名	生活者 ネット 1名	維新の 会 1名	れいわ 1名	無所属 西の議員	無所属 府中 おぎの議員
核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
高額療養費制度の自己負担上限引き上げの中止を求める意見書	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
選択的夫婦別姓制度法制化に向けた議論の促進を求める意見書	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○

武蔵台小・府中第七小 および 府中第七中・府中第十中 「学校統廃合」アンケートを実施中

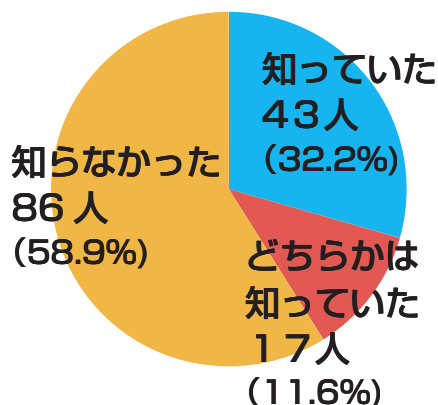
Web回答はコチラより



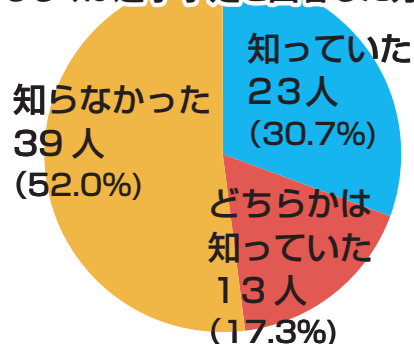
回答数149件

(25年3月18日時点)

Q.武蔵台小・七小および七中・十中の統合計画について



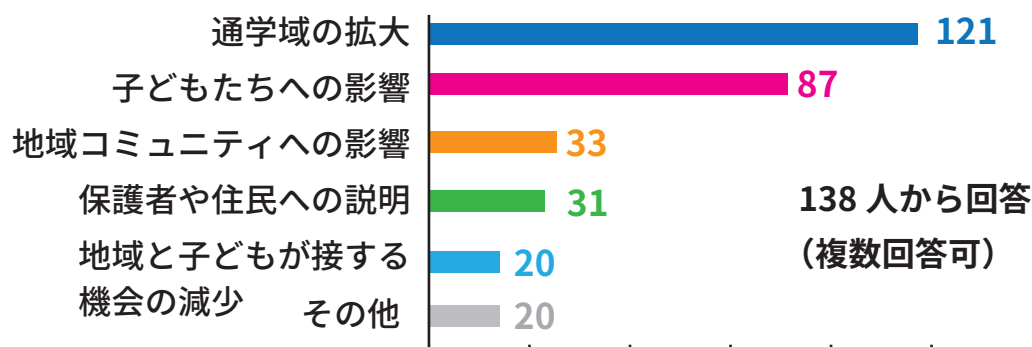
この設問の回答数 143 件

そのうち、家族が4校どれかに在学中
もしくは進学予定と回答した方

「第二次府中市学校施設改築・長寿化計画」では、武蔵台小と府中第七小、および府中第七中と府中第十中が「統合検討校」に指定されました。25年度より統合に向けた「準備期間」が始まります。

4校の学区域を中心に党市議団が実施したアンケートでは、計画そのものを知らなかったとの回答が多数を占めました。統合に伴う通学距離の長大化や、子どもたちへの影響など、多くの不安の声も寄せられています。市議団は寄せら

Q. 武蔵台小と七小の統合によって心配なことを教えてください



れた声を議会で届けると同時に、詳細な周知と意見を聞く場を作ることを、市長・教育委員会に申し入れをおこないました。

現時点の回答集計
をコチラで公開して
います。



本格的な検討はこれから！市民の意見を聞く機会を直ちに！

市議団の要望に対して教育委員会からは、住民の意見を聞く場をすみやかに設定するため準備を進めている旨の回答がありました。

改築校の位置や通学区域など、具体的な検討はこれからです。子どもたちの学ぶ場であり、地域にとってコミュニティや防災対策の中心である学校施設の統廃合は、当事者の理解なしに進めることはできません。市民の意見や不安を受け止め、子どもたちに寄り添う教育を引き続き求めていきます。



▲ 3月21日。市長と教育長に
申し入れをおこないました。

「あなたの声を届けます」要求アンケート実施中

みなさんの声を聞いて市政や都政、国政に届けます。あなたの願いをぜひお寄せください。

- 暮らし実感を教えてください
- どんなことに暮らしの不安を感じていますか？
- 政治の課題だと感じていることを教えてください
- 府中市の政策についてご意見
- 日本共産党へのご意見・ご要望

回答はQRコードより
お寄せください。



無料法律生活相談

お申し込みは各市議まで

5月15日(木)10時～12時

6月26日(木)10時～12時

担当 橋詰 穰 弁護士(三多摩法律事務所)

市役所5階にておこないます